

(仮)「Artist Initiatives Links 1999」／

アーティスト イニシアティヴス リンクス 関連企画

# ”リザベス・ビック講演会 in 多摩美術大学”

## 企画書

1999・7・5

多摩美術大学 油画3年

渡邊 喜裕・奥村 雄樹

## 企画趣旨

これから生きて行く中で、私たちは卒業してから沢山の枝に別れていくことだろう。学生としての今は、そのための準備期間だと考えてよいと思う。

これから自分は何をしていくのか。

美術というフィールドにおいては、各自にとって何が重要で、何が不必要なのか。

今回、ギャラリー・サージ（東京・神田）を中心に集うアーティストによる ~~WS~~<sup>W<sup>3</sup></sup>（ダブル・キューブ）による企画展、<「Artist Initiatives Links in 1999」/アーティスト・イニシアティブ・リンクス/ 日本・オランダ・アメリカ アーティスト&ギャラリー交流 "Puddles" /パドゥルス >に関連して、オランダでアーティスト主体の組織であるDuendeにおいて代表を務め、アーティスト・イニシアティブを理念の基本として立つ、作家のリザベス・ビック氏とのコンタクトをとることが可能な状況になった。

そこで、リザベス氏をむかえて学生を対象とした学生による交流の機会としての講演会を企画したいと思う。

重要な要素として、まず彼が外国人（オランダ）であること。日本とオランダという状況の違いを念頭に置きつつ、作家としての彼の紹介、そしてDuendeの活動を報告してもらい、学生との交流を図りたい。詳しくは、彼がDuendeを発足、活動を開始したのは学生からであり、そのときに、オランダ国内外の美術の動向を含めた周囲の状況がどう見えて、何を思ったか。その後、活動を始めて何が見えてきたのか。これに対して、現在学生である我々には、周囲の状況がどう見えていて、これから何をしていきたいのか。日本の、あるいは世界の中で、どう動き、何を動かそうとするのか。

リザベス氏の経験を一つの指針としたこの対比を中心に、僕ら学生の、より現実的な将来と、そのためのこれからの行動について、それぞれに整理、疑問が誘発され、今後のより良い手掛かりとなるような交流を図りたい。

企画名称 (仮)「Artist Initiatives Links 1999」/  
アーティスト イニシアティヴス リンクス 関連企画  
”リザベス・ビック講演会 in 多摩美術大学”

企画・製作 名称未定・渡邊喜裕(油画3年)・奥村雄樹(油画3年)他 協力歓迎

助成 (仮) 多摩美術大学芸術祭実行委員会

参加作家 リザベス・ビック(オランダ Duende代表)

対象 多摩美術大学在学学生

開催場所 多摩美術大学構内 ex, 本館405、屋外他

開催期日 (仮) 1999年11月初旬 芸術祭期間中一日 (来日後)

企画内容 リザベス・ビック氏講演会及び宣伝を含めた屋外講演(学校内を連れ回したい)

・講演会概要

～アーティスト・イニシアティヴの理念を中心として～

1 簡単な紹介 司会・渡邊 通訳・未定

2 本人講演 今回来日の理由  
Duendeについて  
作品について

・・・スライド・VTR他

3 質疑応答 学生(日本)とオランダ(海外)の対比

・リザベスに対する質疑応答を、通訳を通して行う。

・同時に、その場でスライドと言葉などを使って自分の作品や主張を発表したい学生を募集し、実際に発表を行ってもらい、それについてリザベスや他の学生と言葉を交わし、よりはっきりとした形での相対化により、自分と、世界を含めた他との相互の関係を推し量る。(ワクワクするようなコミュニケーションが前提)

・・・発表を希望する学生は、スライド等資料と内容を、事前に用意する。

・・・4 全体の記録をとり、冊子などにして配布

多摩美新聞方式他思案中

今後さらに最良のコミュニケーションの図り方を検討、変更、実施。

多摩美術大学芸術祭期日・・・1999年11月5日、6日、7日 or 4日夜、5日、6日、7日。

企画日時・・・1999年11月6日

所要時間・・・半日程度

- 10:30 大学着、荷物を置けるところ（休憩できるところを事前に準備）に案内
- 11:00～  
～11:30 学内見学・・・3カ所程度、場所の選定
- 12:00～  
～13:00 昼食・・・多摩美の下のパン屋からパンを買っておくか、学食で食べるか検
- 13:30～  
～15:00 講演会・・・概要別紙

・・・終了

交通機関・・・どこに滞在するのか。滞在先から学校までの交通

都内から・・・中央線で八王子駅、タクシー

新宿から京王線で橋本か多摩センター（特急の停車駅）、タクシー

交通費は芸祭実行委員会から支給

機材・・・マイク3本程度

資料に応じてスライド映写機もしくはビデオプロジェクターを準備

レーザーポインター

記録の為のビデオカメラ、三脚、写真機、音声録音をマイクから直接

場所によっては机、イス

・・・全てを学校側で準備

講演会進行表

時間	進行内容	スタッフの動き	必要な物、人数
当日朝		記録用ビデオ、音声の設置確認 スライド準備、確認	ビデオカメラ、テープ 録音機材、音声テープ マイク3本、シールド スライド映写機、ポジ
		◎プロジェクターとカメラを 接続して、スクリーンに何も映 ないときには、彼らの表情を映 す。	ビデオカメラ担当1人
13:00	開場	暗幕を引き、暗くする	1人
13:30	<講演会開演> リザベス、ヨス、通訳入場	ライト壇上を残し消灯	1人
	1・司会による紹介	司会が簡単な紹介を行う 何がこれから聞けるのか	司会:渡辺 スライドで、テーマ や企画趣旨を映しながら
13:40	2・本人講演		
13:30	<講演会開演> リザベス、ヨス、通訳入場	ライト壇上を残し消灯	1人
	1・司会による紹介	司会が簡単な紹介を行う 何がこれから聞けるのか	司会:渡辺 スライドで、テーマ や企画趣旨を映しながら
13:40	2・本人講演		
	今回来日の理由 Duendeについて 二人の作品について  ・・内容は詳しく本人達から確認	スライドセッティング	ボタンを延長して、 彼らの手動にする
14:30	3・質疑応答 学生からの質問を受け付け、 通訳を通して対話を図る	論点に対して可能な限り 資料のスライドを映す  ・・時間がかかる?	司会は、できるだけ早 く多く聞き出せるよう に努める  スライド操作を交替 するか、彼らに任せるか
15:00	終了		